

サカタインクス株式会社

長期ビジョン

SAKATA INX VISION 2030

- 1. はじめに**
- 2. 沿革**
- 3. 過去10年のあゆみ**
- 4. 事業環境認識と戦略の方向性**
- 5. SAKATA INX VISION 2030**
- 6. 2030年に向けて目指す姿**
- 7. 各事業の取り組み**
- 8. ESG・サステナビリティへの取り組み**

# 1. はじめに

サカタインクスグループは、1896年の創業から今年で125年を迎え、これまで着実に成長してまいりました。しかし近年、当社グループを取り巻く事業環境は大きく変化しております。デジタルメディアの急激な普及や、環境対応へのニーズがより一層高まるなど、今後さらに非連続的な変化が起こりえる状況にあります。

その一方で、企業はステークホルダーの皆様方から、事業面での利益追求だけではなく、社会面での課題解決にも積極的に取り組むことが求められており、当社グループも例外ではありません。

このような事業環境の変化の中で、当社グループが生き残り、世の中から求められる企業として持続的に成長していくためには、常に柔軟性をもって、長期的な視点に立って、将来のあるべき姿と、そこに至る道筋や施策を策定し、それらを当社グループ全体で共有・推進していくことが重要です。

この度、当社グループが目指す将来の姿と、進むべき方向性を明確に示した、2030年を見据えた長期ビジョンと成長戦略、

## 『SAKATA INX VISION 2030』

( Create and Innovate, Care for the Earth, Color for Life,  
“あなたと、つくる、価値ある、あした” ) を策定しました。

当社の企業理念である、「ビジュアル・コミュニケーション・テクノロジーの創造」をビジネステーマに、「人々の暮らしを快適にする情報文化の創造」を存在意義として、新規市場の開拓やこれまでの事業分野を

越えた新規事業の創出など“新たな挑戦”と社内改革の実現を積極的に推進してまいります。それと同時に、世界全体の共通アジェンダとなった“SDGs”にうたわれている、地球環境をはじめとした様々な課題にも取り組み、サステナブルな社会の実現に貢献していきながら、ESG経営を実践します。さらには、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進と、資本コストを意識した、経営資源の最適化に努め、企業価値の一層の向上に取り組んでまいります。

当社がこの先、永続的に発展していくために、まずは次の10年をその礎としなければなりません。そのためには、当社グループ一丸となって目標達成に向けて突き進んでまいります。お客様や仕入先様、株主様をはじめとしたステークホルダーの皆様方と共に新たな歴史を築いてまいりたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

代表取締役  
社長執行役員

森田 耕太郎



## 2. 沿革

### 【創成期】

創業から近代化の時代へ

**1896年** 個人商店(阪田インキ製造所)として大阪で創業、新聞インキの製造・販売を開始



阪田恒四郎(創業者)

**1905年** 本格的な新聞インキ製造工場(旧福島工場)稼働

**1906年** 社名を「阪田インキ製造所」から「阪田商会」に改称

**1959年** 近代的な総合工場(現・大阪工場)を建設



兵庫県伊丹市

**1960年** 海外初の駐在所をフィリピンに開設

**1969年** 野田工場(現・東京工場)稼働



千葉県野田市

### 【成長期】

国内の業績伸長と海外への積極展開へ

**1979年** 海外初のインキ生産拠点を台湾に設立

**1987年** 欧州に進出

**1987年** 社名をサカタインクス(株)に改称

**1988年** 北米に進出



アメリカ・シカゴ

**1989年** インドネシアに進出

**1992年** サカタインクスインターナショナル株式会社を設立  
(1998年7月シーケス(株)に改称)

**1993年** 環境に配慮した大豆油ベースのオフセットインキ上市

**1995年** インド、中国に進出



インド・ニューデリー

中国・広東省

### 【成熟期と変革の未来へ】

環境・品質・安全への対応  
海外展開のさらなる強化へ

**1996年** ISO9001認証取得

**2001年** ISO14001認証取得

**2003年** ベトナムに進出



ベトナム・ホーチミン

**2008年** OSHMS認定取得

**2014年** 滋賀工場稼働



滋賀県米原市

**2016年** 南米(ブラジル)に進出

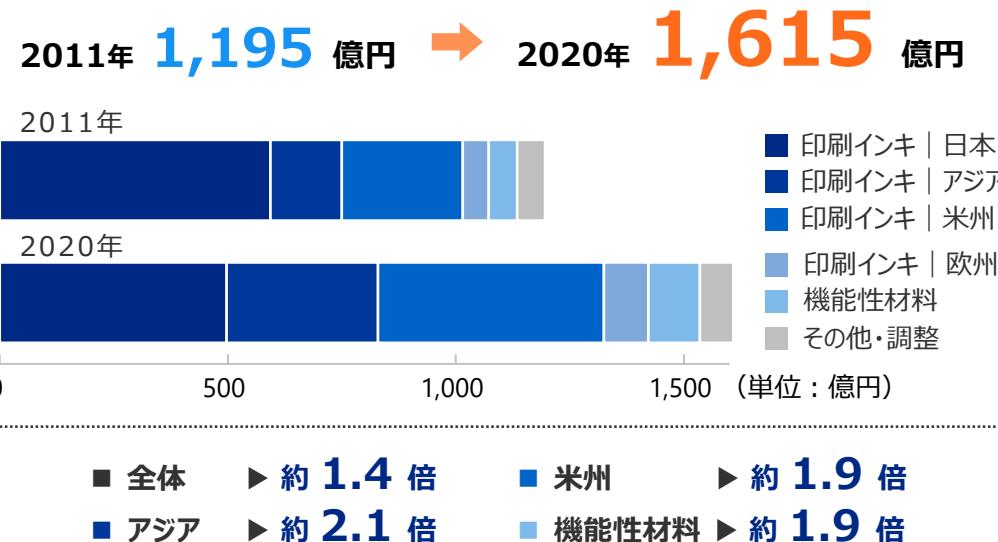
**2016年** ボタニカルインキ  
(植物由来の材料一部使用)  
シリーズの展開開始



**2021年** 長期ビジョン  
SAKATA INX VISION 2030  
スタート

### 3. 過去10年のあゆみ

#### 売上高



#### 数字で見る成長（2011年→2020年）



#### 売上高、営業利益、営業利益率の推移



※ 2015年は決算期変更により、過去の各社の決算を基礎として、2016年以降の12月期決算と同期間を連結対象として調整した数値です。

# 4. 事業環境認識と戦略の方向性

## 事業環境変化

### 国内・海外での市場・競争環境変化

- 紙離れによるインキ需要の低迷
- 新興国市場における競争の激化
- 脱プラスチック等環境対応ニーズの変化と高まり

### デジタル化によるバリューチェーンの変化

- デジタル媒体の大幅な増加
- 印刷の多様化・カスタマイズ化

### 環境制約・社会課題への対応

- 長期的なサステナビリティ配慮、SDGsに向けた取り組みの重要性の高まり
- 資源制約・原料価格高騰リスクの高まり
- ESG投資の影響力増大

## 戦略の方向性

地球環境と地域社会を  
重視した  
ESG・サステナビリティの  
取り組み強化

印刷インキ・  
機能性材料事業の拡大

新しい  
事業領域への挑戦

# 5. SAKATA INX VISION 2030

## 企業理念（マインドインマインド）

ビジネステーマ

ビジュアル・コミュニケーション・テクノロジーの創造

存在意義

人々の暮らしを快適にする情報文化の創造

## ビジョン

**Create and Innovate, Care for the Earth, Color for Life**

あなたと、つくる、価値ある、あした

新たな領域への挑戦によって“イノベーション”を生み出し、“地球”にやさしい技術で、“人生”を快適かつ豊かに彩り、世界中に笑顔があふれる未来を創る企業

## 戦略の方向性

印刷インキ・  
機能性材料事業の拡大

地球環境と地域社会を重視した  
ESG・サステナビリティの取り組み強化

新しい事業領域への挑戦

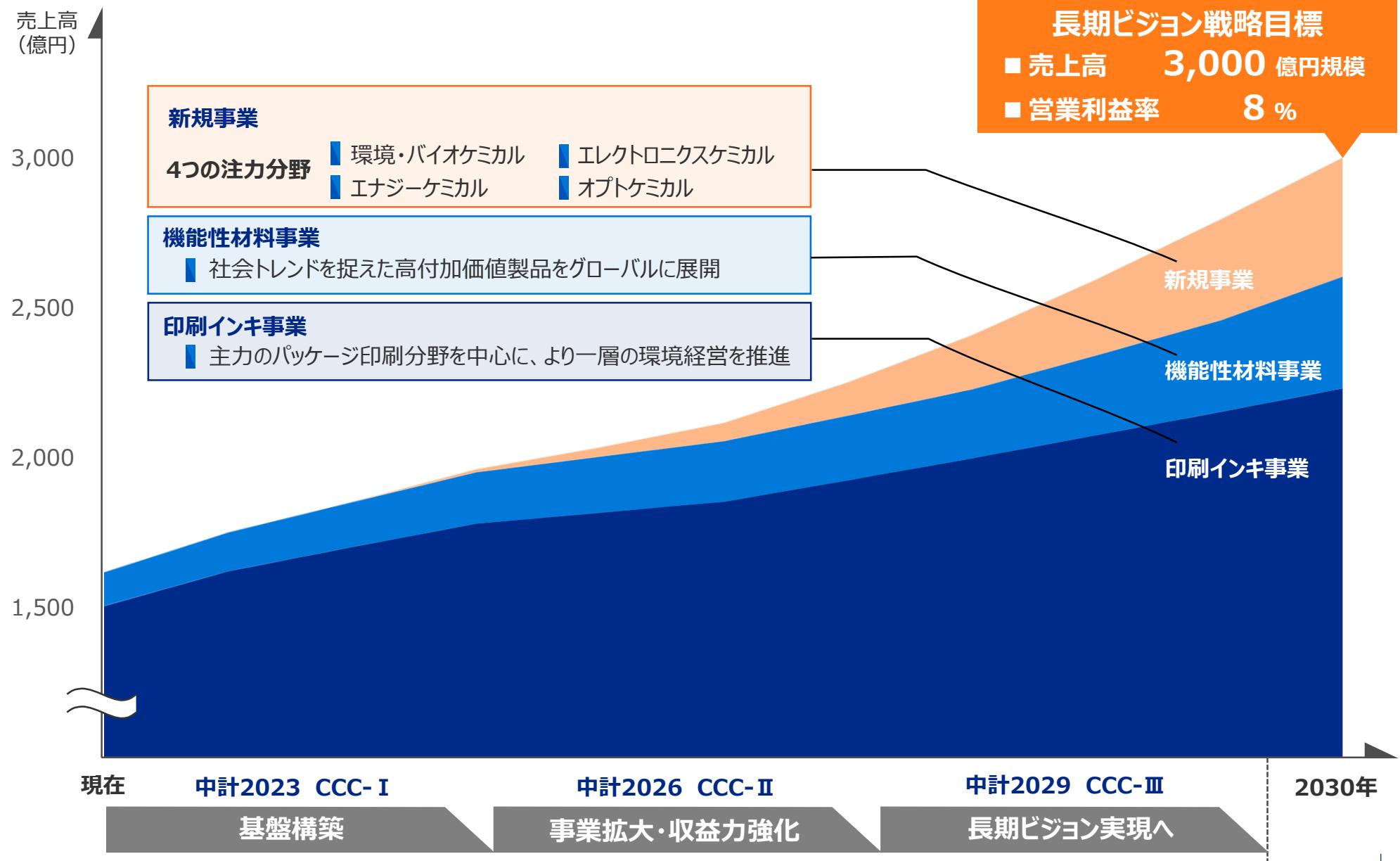
## 変革プロジェクト

グローバル連結経営の  
さらなる強化

ステークホルダーとの関係強化

人材育成の強化  
組織風土の改革

# 6. 2030年に向けて目指す姿



# 7. 各事業の取り組み 既存事業

印刷インキ事業

2030

パッケージ印刷分野 / 情報メディア印刷分野



機能性材料事業

2030

インクジェット印刷分野 / ディスプレイ関連分野



- 環境経営の推進
- バリューチェーン全体の強化
- グローバルパートナーとの関係強化
- 高付加価値製品の開発と展開
- 国、事業をまたいだ最適経営の強化
- 成長市場・新規市場へ経営資源の投入

- 社会トレンドを捉えた高付加価値製品をグローバルに展開
- グローバルでのさらなる連携強化
- 各市場での販売・収益力強化、ブランド力の向上

# 7. 各事業の取り組み 新規事業

戦略キーワード：安全安心、便利快適、健康維持、低炭素社会、サステナビリティ

当社が目指すこと

人々の快適な暮らしへの貢献



持続可能な社会の実現



オープンイノベーション&リーンスタートアップ

当社コアコンピタンスの活用により社会課題に対応

注力分野

環境・  
バイオケミカル

エナジーケミカル

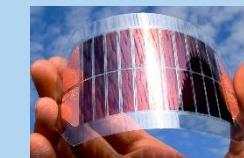
エレクトロニクス  
ケミカル

オプトケミカル

ターゲット領域



ヘルスケア



太陽電池



IoT/5G



ディスプレイ



パッケージ



モビリティ

# 8. ESG・サステナビリティへの取り組み

社会  
課題



温室効果ガス



プラスチック海洋汚染



気候変動



リスクガバナンス



廃棄物



人権尊重



食品ロス



ジェンダー平等

## 重要課題（マテリアリティ）

持続可能な地球環境を  
維持するための活動

安心・安全な製品の供給

研究開発・技術力の強化

コーポレートガバナンス、  
コンプライアンスの強化

人権の尊重、  
ダイバーシティの推進

## 目指す社会

地球環境を保護し、  
人々に安全と健康を

快適さ、利便性とともに、  
循環型社会の実現を

豊かな生活、新しい  
ライフスタイルの創造を

ステークホルダーとの  
良好な信頼関係を

人権、人格、  
多様性を尊重し、  
働きやすい労働環境を

## SDGs



# 8. ESG・サステナビリティへの取り組み

## E:環境

### 環境配慮型製品比率の向上

#### | ボタニカルインキ

植物由来成分を含有し、CO<sub>2</sub>排出抑制に貢献  
ボタニカル度の向上に向けて、研究開発を推進



### 生産活動における環境負荷の低減

#### | 太陽光発電導入とエネルギー消費量削減

滋賀工場、東京工場への太陽光発電システム導入



滋賀工場 太陽光第一・第二発電所

2030

GHG 50% 削減 ※  
TCFDへの早期賛同とリスク開示

※日本国内のScope 1&2における2013年度比の削減目標

## S:社会

### 働きやすい労働環境

#### | 多様な勤務制度

テレワーク制度の導入  
ワークライフバランスの推進



#### | 健康経営推進

サカタインクス健康経営宣言

国内女性管理職比率 15% 以上  
育休取得率 100%

2030

## G:ガバナンス

### コーポレートガバナンス強化

#### | 役員構成や経営会議の多様化

社外取締役・女性取締役の参画

海外現地法人役員との戦略会議

#### | 内部統制システムの整備



政策保有株式の縮減  
リスクマネジメントの強化

2030

# SAKATA INX...

Visual Communication Technology

